

北海道ニセコ高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 PartⅡ)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)生徒の活躍する場を新設 (2)個に応じたキャリア教育の充実を図る。 (3)資格取得の充実	(1) JICA筑波での国際農業研修や、国内外でのグローバル人材研修など年10回程度の校外研修を実施した。また、授業内プロジェクトを、北海道大学での学会発表や、道教委主催Ezo 探究-Festivalに出場するなど、生徒の活躍する場を広げた。 (2) 2年生に対し、進路希望に合わせた実習を実施した。 (3) 農業技術検定2・3級及び食品衛生責任者資格取得指導を実施した。	・取組の継続	5
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	(1)ニセコ町が取り組むSDGs未来都市としての活動を学ぶ。 (2)グローバル人材育成教育の充実	(1)各教科の取組の中で、SDGsについての学習活動を実施した。 (2)マレーシア見学旅行及び台湾視察研修を実施した。	・取組の継続	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地場産業を支える取組 (2)地域の主要農産物の栽培課題を発見し、解決に向けたプロジェクト学習の実施	(1)町内の協力企業等でのインセンシップを実施した。 (2)JAようてい、地域農家、道の駅及び酪農学園大学と連携し、イタリアン野菜やホワイトアスパラガスの生産課題解決に向けた栽培を実践した。	・取組の継続	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)地域農家、有機ワインブドウ農家の視察実習と農業実習 (2)地元6次産業との連携	(1)年間4回の実習と視察を行い、ニセコにおける有機果樹栽培を学んだ。 (2)町内で6次産業化しているニセコワイナリー、ニセコテイスティ、ニセコ高橋牧場レストランプラティーヴォとの連携学習を実施した。	・取組の継続	5
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)小樽開発建設部後志中部農業開発事業所と連携した「環境に配慮した農地開発」の学習により、持続可能で創造的な農業を学ぶ。 (2)エネルギー教育の充実	(1)現地学習を通して環境に配慮した農地開発を学んだ。 (2)クボタアグリフロントでの研修や、SDGs学習を通じて持続可能なエネルギーについて学んだ。	・取組の継続	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)ニセコ町教育委員会・CS委員会と連携した食育交流・菜園交流 (2)国際交流員との食文化交流	(1)幼児センターとの菜園交流を実施した。 (2)食文化交流「ワールドキッチン」を、年3回実施した。	・取組の継続	3
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)DXハイスクールの取組推進	(1)Googleやデロイトトーマツ、京都大学、小樽商科大学との連携を行い、DXハイスクールの取組を推進した。また、放課後起業家クラブでは、生徒のアイディアを形にする取組を実施した。	・取組の継続	5
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)実習に関わる安全教育の徹底 (2)実習中の災害への備え	(1)実習服・帽子・長靴・軍手の着用を徹底した。 (2)危機管理マニュアルの見直しを行った。	・農場実習中の地震、原発事故への備えを徹底する。	4